

インターハイは、私にとって、選手として又、監督として自分の青春をかけてきた人生の檜舞台でした。いま地道に忍耐強く前へ進もうとしている後輩諸君のために励ましのメッセージを送らせていただきます。

#### 応援メッセージ

選手諸君はそれぞれに先駆者であり、挑戦者たちである。

戦いには時の運があるように、人生にも運命的なピンチが訪れることがある。しかし君たちの力は無限である。

価値ある青春を生き抜いてきた力強い前向きの一念で、これからは「人生の勝利者」という大願を高く掲げ、新しい第一歩を踏み出してほしいと願うものである。

雨森 輝昌 青森大学名誉教授

元全国高体連体操専門部男子技術部長  
元青森県弘前実業高校男子体操部監督

酒田東高校体操部 今までの人生の原点である。

体操が嫌いだ！と何度があったが、辞めないで良かったと思う。その時は、一日の積み重ねが自分を成長させる『学び！』とは、考えられなかった。どんな事柄にも、自分と仲間を大事にしてそれを信じて生きる。

だが、最後には、自分で考え、学習（体験）していく。君の大事な人生は、まだまだ、これからです。

伊藤厚志（酒田東高校 OB 日本体育大学 体操部 OB）

私は大学4年生です。今年で体操競技を引退するというのに、5つも試合が中止になりました。だから、高校生の悔しさ、痛いほど分かります。ですが、体操は試合出場がゴールではなく「人として成長すること」が本当のゴールだと私は思います。最後まで、行ける所まで、自分の体操を磨いて、向上心を常に忘れない人間にならなう!!!

相原 咲笑

（国際武道大学）秋田工業高校 OG

新型コロナウイルスにより、インターハイを始め、様々な大会が中止となってしまいました。高校生の皆さんがこの学生生活で得たものは、大会の成績よりも大きいものだと思います。悔しい気持ちを乗り越え、これから先の人生を伸び伸びと歩んでいけることを願っております。

## 立教大学一同

(仙波・堂園・高橋・笹川・岡島・多胡・橋本・石井・伊澤・岡田・的場・小池・富永)

(佐賀女子・昭和学院・二階堂・金蘭会・伊那西・常葉・駒場・丸岡) 高校OG

## 高校生への「応援メッセージ」



新型コロナウイルスの影響でインターハイが中止になってしまいましたが、これまで競技に費やしてきた時間は絶対に無駄ではなかったと思います！

悔しい結果になってしまいましたが、今の状況を受け入れ、次にどうするかを考え、足を進めてほしいです！

皆さんの未来が明るい日々に包まれることを願っています。



**田中理恵** (和歌山県生まれ) 日本体育大学卒業、同大学大学院修了。

ロッテルダム世界選手権(2010年)にて、日本女子初の『ロンジン・エレガンス賞』を受賞  
全日本体操競技選手権大会(2012年)女子個人総合優勝

NHK杯体操競技(2012年)女子個人総合優勝

ロンドン五輪(2012年)日本代表 兄の和仁選手、弟の佑典選手とともに出場。

現在、

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事

日本体操協会理事